

令和5年度 学校だより 10月号



本宿 (ははそは)

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/honjuku>

令和5年10月13日
横浜市立本宿中学校
TEL 045-373-0529
校長 熊野 一隆

みなで最高の思い出作りを！

校長 熊野 一隆

過ごしやすい季節になってきて、遅くなった秋の到来を楽しめるようになりました。生徒の活動も活発になってきています。

9月17日(日)に行われた本宿東部自治会の秋祭りでは、本校吹奏楽部の素晴らしい演奏があり、大変に好評でした。自治会長からも「こんなに素晴らしい演奏をしてもらって自治会としても大満足です。」と感想を述べられていました。当日の天候では、秋の季節を思わせる心地よい風が吹けば、生徒の負担も減ったのですが、秋晴れ過ぎてむしろ熱中症を注意しなければならない暑さでした。そのような環境下にも関わらず、吹奏楽部生徒全員で力強い、また感動を与える演奏を行うことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。顧問の先生方も、お休みの日の出勤を快く引き受けてくださりました。また、地域や保護者の方々も多数ご参観いただき、生徒の励みになったと思います。ありがとうございました。

9月29日(金)に二俣川駅北口デッキで「野村香さんを捜す活動」として、本校生徒を中心にチラシ配りを行いました。新型コロナウイルス感染拡大状況下では控えていた活動を昨年度途中より復活させました。運営母体として『本宿中学校区学校・家庭・地域連携事業実行委員会』が中心となり、本宿小学校、また旭署の警察官の方々を含め、総勢50名程度で行うことができました。生徒にとってこの「野村香さんを捜す活動」はどのように映っていたのでしょうか。自分たちが生まれる遠い昔の事件ととらえる生徒や身近な人がいなくなってしまう恐怖や理不尽さを感じる生徒など、いろいろだと思います。ただ活動に参加し、チラシを配り、また行きかう人々に声をかけ、このボランティア活動に取り組む中で、活動の大切さを理解し協力できる人に育ててほしいと願いながら、生徒の皆さんを見守っていました。

9月21日(木)、22日(金)に中間テストが終わり、いよいよ各クラスは本格的に合唱コンクールの練習が始まりました。先生方の腰の入れ方も変わってきています。時に廊下で生徒ともに歌い、時に1Fピロティで生徒が輪になり、担任が真ん中に入って歌っています。1Fピロティはよく声が反射し、ちょっと上手くなっているように聞こえます。しかし、その辺では先生方の抜かりはありません。「このピロティは声が良く反射するから声量があるように聞こえるけど、そうじゃないからね。惑わされないでもっと頑張る」と、悲痛にも似た指導で生徒を叱咤激励しています。

そんな悲喜こもごもの場面が多くみられる学校行事も、あともう少しで終わってしまうのかと思うと寂しさを感じます。とにかくみんな頑張るって最高の思い出を作りたいと願うばかりです。

【進路情報】

昨今、入試制度が目まぐるしく変化しています。学校としても更新されていく情報を生徒のみなさんをはじめ、保護者のみなさまにも提供していきます。今回は1・2年生向けの内容ではありますが、紹介させていただきます。今回の学校だよりをぜひご家庭でも話題にさせていただいて、今後の進路選びに生かしてもらえればと思います。

卒業後の進路選びについて

進路指導担当

★神奈川県全体での進路状況

- ・高等学校への進学・・・約97%
進学の内訳（全日制92%・定時制2%・通信制6%）
※通信制への進学率が年々増加している傾向にあります
- ・全日制の高校の進学者のうち、公立高校が70%・県内私立高校が22%・県外私立高校が8%

★進路選びについて2年生のうちにやっておいたほうがよいこと

- ① 選択肢が広がるように基礎的な学力を身につける
→学校選びは学力が占める部分が大きいです。
本格的に学力検査に向けて勉強をし始めたとき、基礎の力があるとならないでは大きな違いがあります。
- ② 卒業後の進路にはどのようなものがあるか知る
→中学校と同じような登校・学習の方法だけではないスタイルが多くあること。
全日制・定時制・通信制の違い、公立・私立の違いなど。
特に、中学では思うように登校できなかった、学習面でずっと不安があった、などの生徒に対して高校卒業まで手厚いサポートが受けられる学校もあります。
- ③ 将来のことについて考える・家族と話す習慣をつける
→中学校が進学先を決めることはありません。自分(家庭)でよく考えて決めるようにしましょう。
なんとなくまわりと同じ、という考えにならないように、自分のことは自分で決めましょう。

★神奈川県の高校入試の特徴について

① 公立高校（入学者選抜）

- ・一部の学校を除き、2月の共通選抜で定員の100%を募集します。つまり、基本的に1校のみ受検します。
- ・一部の学校を除き、国社数理英の5教科の学力検査があります。
- ・一部の学校を除き、学力検査と調査書(2・3年の成績)で合格者を決めます。
- ・一部の学校では実技や面接・特色検査があります。
- ・定員通りに合格者を決めるので、残念ながら全員が合格できるわけではありません。

② 私立高校

- ・入試相談制度という独自の制度があります。
- ・入試相談制度には併願（公立などが第一希望）・専願（その学校のみ受験）・推薦（その学校のみ受験で中学校の推薦が必要）という受験方法があり、12月に受験校を決定します。

- ・入試相談制度を利用して受験する場合、高校側の基準を満たしている必要があります(成績や欠席日数など)。
- ・入試相談制度を利用しない受験方法は一般的にオープン入試といい、多くは当日の学力試験の結果で合否を決めます。

★近年の状況(公立高校)

- ・昨年度(現高1)までは全員面接がありましたが、今年度(現中3)から全面实施ではなくなりました。
- ・今年度(現中3)からインターネットによる出願方式が導入されます。
- ・今年度(現中3)合格者の決定方法が若干変わり、2次選考と呼ばれる定員の残り10%を決める選考方式について、学力検査+面接 → 学力検査+3年の教科の「主体的に学習に取り組む態度」になります。

- ・近年の学校の再編に関わる統合などの状況

令和2年度 氷取沢・磯子 → 横浜氷取沢

横須賀明光・大楠 → 横須賀南

平塚農業・平塚商業 → 平塚農商

弥栄・相模原青陵 → 相模原弥栄

令和5年度(現高1が1期生)

瀬谷・瀬谷西 → 横浜瀬谷

逗子・逗葉 → 逗子葉山

城山・相模原総合 → 相模原城山

令和6年度(現中3が1期生)

厚木東・厚木商業 → 厚木王子

今後の再編にあたり、令和7年度入学生の募集を行わない学校(現中2は受検できない学校)

横浜旭陵(令和9年度から旭と統合)

永谷(令和9年度から横浜桜陽と統合)

深沢(令和9年度から藤沢清流と統合)

※二俣川看護福祉は令和7年度募集(現中2)から看護科→普通科になります。

公立高校入学者選抜についての詳しいことは神奈川県ホームページにあります。ぜひご覧ください。

↓県のホームページの2次元コードです



【いよいよ来週が文化発表会!!】

来週に迫った文化発表会、発表団体ごとの練習にも熱が入ってきました。特にクラスごとに発表のある合唱の練習は相当なものです。生徒が主体となって、アドバイスし合い、時に励まし合い、次第に元気な歌声から美しい歌声に変化を遂げてきています。当日の発表を楽しみにしててください。今年度は「学年合唱」という学年全体で課題曲を披露する場面があります。こちらもぜひ、楽しみにしててください。

※お詫び：先日のクラス個票に19日（1日目）展示と書かれてありましたが、正しくは20日（2日目）展示でした。保護者のみなさまの展示見学も20日となります。申し訳ありませんでした。



【11月マナビバ開催日】実施予定5回

8日 14:45～ / 9・13・14日 15:45～ / 24日 14:45～

※年度当初にお渡しした予定とは異なり11月1・2・10・17日はなくなりましので、ご注意ください。

【11月の主な予定】

- 1日 3年個人面談（～11月2日）
- 7日 専門委員会
- 8日 評議会/市総体閉会式/5・6組宿泊学習（～9日）
- 13日 PTA合同委員会
- 15日 2学期期末テスト（～17日）
- 21日 地球のステージ
- 28日 1年福祉体験/2年キャリア研修

《お願い》

欠席等のご連絡は8:15から8:25までをお願いします

8時30分～40分の時間帯は、職員が打合せを行っています。